**情報科教育法－2022年度**

**最終レポート**

学生番号：
氏名：

# 情報Ⅰでは必修となり，大学入試にも情報科目が追加されつつあります。また、情報Ⅰではプログラミングが項目に入っています。大学入試を含めてプログラミング教育はどのようにしていく必要があるのか考察してください．

このレポートフォーマットは情報科教育法bのフォーマットとなっている．以下のルールに従って，レポートを作成するようにすること．

元から書かれている説明文や図表などは削除し，提出すること．以下，フォーマットに従っていない場合は減点対象となるので注意されること．

〇文末について

本文はすべて「～です．」「～ます．」などとは書かずに，「～である．～であった．～と思った．」などのようにである調で記述すること．また，本文の句読点は「，」「．」ではなく，全角のカンマとピリオド（「，」「．」）で統一すること．

〇フォントとスタイル

フォントに関しては，日本語は「MS明朝」とし，英数字は「Times New Roman」とすること．本文を書く際には，WORDの設定で「標準」を選択すると「1字下げ」およびフォントサイズ，フォントが一意に決まるので活用すること．図1にスタイルの選択について示す．



図1　スタイルの選択

〇図表の扱い

図や表を扱う場合は，以下のようなルールがある．

* 図や表を本文で引用すること
* 図のキャプションは図の下に書くこと
* 表のキャプションは表の上に書くこと
* 図表のキャプションはそれぞれ通し番号とすること
	+ 表1，表2，表3，・・・　　図1，図2，図3，・・・
* 表や図はページを超えないこと（同一ページで記述すること）
* キャプションと図表はページを超えないこと（同一ページで記述すること）
* 図において，同じキャプションで複数ある場合はサブキャプションをつけること
	+ (a) ・・・　(b)・・・

例）

A～Eさんの5名に対して，製品X，Y，Zの評価を行ってもらった．評価は1,2,3,4,5の5段階である．表1に製品X，Y，Zに対するA～Eの評価値を示す．

引用

キャプション

表1　製品の評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **評価者** | **製品X** | **製品Y** | **製品Z** |
| A | 4 | 2 | 4 |
| B | 5 | 2 | 3 |
| C | 5 | 1 | 5 |
| D | 5 | 1 | 3 |
| E | 4 | 2 | 4 |

次に，各製品X～Zのそれぞれの投票数を図1に示す．

 (a) 製品X (b) 製品Y (c) 製品Z

図１　各製品の評価について

図1(a)は製品X，図2(b)は製品Y，図3(c)は製品Zの投票分布である．

・・・・・

・・・・・

〇剽窃について

レポートに関して，他人のレポートをコピーなどが見られる場合（文章が同似ているもしくは同じ，他人の情報が含まれているなど）は，見たほうも見せたほうも両者とも厳重注意ののち**単位なし**とする．

〇レポートの評価について

レポートの評価は，表2に示すルーブリックで行う．特に，「詳細に書かれている」という項目については，図表などを用いて，詳細な説明がされているのかが重要である．相手に伝わる文章を書くように心がけること．

以下提出時には削除すること．

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 2 | 1 | 0 |
| 誤字脱字がない | 誤字脱字がない | 誤字脱字が1，2か所ある | 誤字脱字が3か所以上 |
| 調査がしっかりとされている | 文献が6件以上 | 文献が4件以上 | 文献が4件未満 |
| １について | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをしっかりとまとめている． | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをまとめている． | 調査せず自分の意見のみ記述している |
| ２について | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをしっかりとまとめている． | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをまとめている． | 調査せず自分の意見のみ記述している |
| ３について | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをしっかりとまとめている． | 文献や調査結果を引用しつつ，自分の考えをまとめている． | 調査せず自分の意見のみ記述している |

これに加え，独自の基準で加点を行う場合がある．

# 平成29年度学習指導要領では，「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」と書かれています．これを実現するためには，どのような授業実施していくべきか，現状の問題を挙げつつ考察してください．

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．

# これからの情報教育を実施していくうえで，日本は小学校段階からプログラミング的思考を進めていきます．このことについて，世界とのプログラミング教育の実情を比較しながら，どのように情報教育に向き合うべきか考察してください．

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．